

放課後子ども総合プラン運営委員会（第1回）

●開催年月日 平成27年7月15日（水）午後1時30分

●場 所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席者 出席委員 14名

会 長	伊 藤 鶴 吉
副 会 長	松 本 秀 樹
委 員	今 井 敦 六
委 員	藤 田 佐知子
委 員	小 河 元 男
委 員	三 浦 光 俊
委 員	橋 本 禎 枝
委 員	吉 野 昌 薫
委 員	松 尾 昌 之
委 員	尾 関 順 久
委 員	梶 田 福 好
委 員	滝 保 子
委 員	大 竹 誠
委 員	菱 田 幹 生
欠席委員 1名	
委 員	柴 田 広 美

1 教育長あいさつ

2 会長及び副会長の選出

3 会長あいさつ

4 議題

(1) 平成 26 年度江南市放課後子どもプラン事業報告について

事務局説明

質疑

委員 放課後子ども教室の運営にあたり、どのような苦勞があつて、それに対してどのような問題意識を持って取り組んでいるか、教えてほしい。

事務局 過去の打ち合わせや会議では、特別に支援が必要な児童も、分け隔てなく受け入れているため、決められた人数の中で適切に安全管理していくのが難しいという意見がよく聞かれました。

委員 過去「注意しても言うことを聞かない場合、結果として他の児童の負担・迷惑になるため、受け入れを制限できないか」という考えのスタッフもいたと記憶している。他の児童の安全を考えれば、仕方がない部分もあるが、やはり落とし穴のある考え方かと思われたため、当時議論している。今はそこまで追い込まれている状況はないという理解でよいか。

事務局 数年前は深刻な部分もありましたが、現在、そこまでの状況はありません。

委員 通える生徒はすべて受け入れているという気持ちでいるということによいか。

事務局 そのとおりです。

委員 放課後子ども教室の定員はどのようになっているのか。

事務局 布袋は 47 人、古南は 55 人、宮田は 80 人、藤里は 50 人となっています。

(2) 平成 27 年度江南市放課後子ども総合プラン事業計画（案）について

事務局説明

質疑

委員長 放課後子ども教室として、古知野西小学校が増えるが、問題はないか。

委員 今日現在で 27 名の申し込みがあります。事務を滞りなく進めてまいります。

委員長 今回増えるのは古知野西小学校のみか。

事務局 はい、平成 27 年度につきましては、古知野西小学校のご協力で開催していく予定です。放課後子ども教室は新規ですが、学童保育については、従来、体育館の一部の部屋で行っておりました。その学童保育が臨時校舎に移動し、放課後子ども教室と学童保育 1 室ずつで開設予定です。放課後子ども教室に関しては 10 月 2 日より、学童保育に関してはなるべく早い段階で開設できるよう進めております。

委員長 「フジッ子教室」という言葉は初めて聞くが新しいアイデアか。

事務局 放課後子ども教室の通称名として従来より使用しております。一般的な呼び方として、より簡単で分かりやすい呼び名として使用しております。

委員 コーディネーターや安全管理員、アドバイザーは何名程度で、どのように採用されているのか。

事務局 コーディネーターについては今現在 1 名お願いしており、各教室のプログラムをコーディネートしていただいています。安全管理員は各教室に 4 名登録されており、その内の 3 名で月、水、金曜日に勤務をお願いしております。ただし、宮田教室に関しては、6 名登録し、そのうちの 5 名でお願いしております。学習アドバイザーは、各教室に 1 名ずつ配置しております。

委員 総合プランというように「総合」が入ったことによりどう変わったかが知りたい。

事務局 一体的、連携的に学童保育と放課後子ども教室を進めていくということです。従来は、国の数値目標が具体的に掲げられていませんでした。今回、総合プランが平成 27 年 4 月 1 日から施行されたということで、国としては、平成 31 年度末までの目標値が定められました。

教育長 一体型と連携型について内容を示してもらいたい。

事務局 本日の議題 (3) で説明予定でしたが、先にご説明いたします。まず、一体型というのが同じ小学校内に放課後子ども教室と学童保育の会場がある状態です。ただし、校外でも隣接しており、安全に移動ができるのであれば、一体型と見なします。その中で、国の指針では、放課後子ども教室のプログラムに学童保育の児童が参加するというものです。

連携型につきましては、放課後子ども教室と学童保育の会場の

うち、少なくとも一方が学校外にあるというものです。離れてはありますが、放課後子ども教室のプログラムと連携していくというものです。

委員 先ほど数値目標ができたというように伺ったが、どこかに示されているのか。

事務局 書面にはございませんが、「平成 31 年度末までに学童保育については約 30 万人分新たに整備していく。また学童保育と放課後子ども教室を全小学校区 2 万箇所で一体型、連携型という形で実施していく。そしてその内の 1 万箇所以上を一体型としていく。」という数値目標です。

委員 国の数値以外で江南市としての数値はあるのか。

事務局 各市町の事情がありますので、国の方針を踏まえたうえで実施予定です。資料として「放課後子ども総合プラン江南市行動計画編」がございます。これは 3 月に策定いたしました「江南市子ども・子育て支援事業計画」の別冊編になっており、中身は総合プランの内容となっております。江南市としての目標数値も示しておりますので、こちらを先にご案内いたします。

(3) 平成 27 年度江南市放課後子ども総合プラン事業計画（案）について

事務局説明

質疑

委員 10 月 2 日に古知野西小学校で放課後子ども教室が新規で開設され、江南市で初めての一体型教室になるということだが、それまでに放課後子ども教室と学童保育がそれぞれ準備を進め、放課後子ども総合プラン研究会を通してすり合わされたうえで、一体型がスタートすることになると思うが、学童保育の流れを教えてください。

事務局 学童保育に関しては、現在、古知野西小学校の体育館の管理室を借用して実施している部屋が一つと、古知野西公民館の敷地内に学童保育専用の施設があります。体育館管理室で実施しているのが 1 年生、古知野西公民館で実施しているのが 2、3 年生です。今年度に関しては、古知野西小学校の臨時校舎の 1 室が使わせていただけるということで、今後検討が必要ですが、現段階では、体育館の管理室で実施している 1 年生の学童保育がそのまま臨時校舎の 1 室に移る予定です。ただし、人数の兼ね合いもありますので、今後も引き続き検討していきます。また、体育館から臨時校舎に移ることで部屋が広がりますので、平成 28 年度からは小学 4 年生まで受け入れを拡大させていただく予定です。使い方につきましては、古知野西公民館と臨時校舎で 1、2 年生と 3、4 年生で分ける等、今後検討していきます。

委員 重ねての質問になるが、市の方針・考え方は保護者に周知されているのか。

事務局 周知してあります。

委員長 放課後子ども教室は、平成 31 年度までに実施校 7 校となっているが、実施しない 3 校は決まっているのか。

事務局 今年度開設の古知野西小学校と門弟山小学校は開設予定ですが、それ以外の学校に関しては現時点では未定です。

(4) 意見交換について

委員 去年のこの会では、フジッ子の定員と学童の定員が示されていたが、今年は学童の定員は示されていないようだが、去年と同様ということによいか。

事務局 今回資料としてはお付けしておりませんが、昨年から学童保育の定員が増えた場所につきましては、平成 26 年度中に宮田小学校の中に新しい学童保育所を建設しましたので、従来は定員 40 人だったものが、80 人に増加しました。その他数箇所定員を増やさせていただいております。昨年度の定員の合計は 486 人ですが、現在の定員の合計は 552 人となっております。

委員 指導員等いろいろなスタッフが関わっていくが、そういった方の能力を高めるために、研修会等に参加させてほしい。子どもの成長発達を支援するには高い専門性が必要になるが、それをより実効性のあるものにしてほしい。子どもの成長発達に目標を持たないと、自分のやっている仕事の内容が正しいかどうか、成果があるのかどうかの判断ができなくなってしまう。それができなければ、専門性は向上していかない。

事務局 放課後子ども教室では、年間複数回の研修会や打ち合わせもございますが、今おっしゃられた考えもしっかり伝えたいので、更なる向上を目指してまいります。

委員 放課後子ども教室は、「放課後の子ども達の安全で健やかな活動の場を確保」とある。定員があるというのも分かるが、もう少し開かれた場にしてほしい。

事務局 定員の拡大ということにつきまして、安全に過ごしていただくという前提があり、また様々な場所での活動について、それに伴う管理員の確保が必要となります。そのような中ではありますが、現在までできる限り定員数を広げてまいりました。貴重なご意見として受け止めさせていただきますが、すぐ数値を伸ばすということにつ

いては現時点では難しい面があります。しかし、予算等を含め、引き続き検討していきたいと思います。

委員 放課後子ども教室と学童保育で定員の決め方は違うのか。布袋小学校について、学童保育の現場を見ると、安全面で問題があるように思えるが、今後改善等はあるのか。

事務局 学童保育について、定員は教室の面積に対して1人あたり1.65㎡という基準があり、その基準に基づいて積算して求めます。しかし、定員以上に応募がありますので、それ以上の受け入れをしております。目的が就労支援ということで、昼間親御さんが見えにならない児童の受け入れ先が必要ということもあり、できる限り受け入れしています。これは、施設を確保していかななくては解消されません。ですから、「江南市子ども・子育て支援事業計画」の中で施設の確保を目標として掲げております。しかし、現実問題として予算や敷地の問題があり、布袋小学校ではまだ対策が具体的になっておりません。

委員 今後の計画に期待し、事故が起こらないようにしていただきたい。

委員 放課後子ども教室の児童と学童保育の児童が共通プログラムで連携するということが、それ以外の時間で一緒に遊ぶということはあるのか。

事務局 初めて古知野西小学校で一体型として実施していくということで、どのようなものが共通で実施していけるか等を研究会で議論していきたいと考えております。

●事務局より第2回・第3回の放課後子ども総合プラン運営委員会の日程説明

午後2時51分 閉会